

# 苦境に直面するエクアドル

首藤 祐司

エクアドルは人口・経済の規模が比較的小さく（2018年人口1,708万人、GDP1,084億米ドル）、また在留邦人も少ない。日本からの移民はほぼなかったため日系社会も存在しない。これらのため日本で実情が報じられることは少ないが、多様な自然と暖かい人々を有する住みやすい国である。そのエクアドルが現在大変な苦境に見舞われている。

新型コロナウイルス（COVID-19）の最初の感染者が確認されたのは2月28日であった。スペイン旅行からの帰国者であるとされ、以後の感染者も欧州との関連が多く報じられたが、主たる感染経路は明らかではない。その後、政府は3月16日に非常事態宣言を発し、全国でロックダウンに入る。この時点で発表されていた感染者数は100人前後であり、早めに手を打ったという印象であった。しかしその後、感染は発表数値より実はかなり多いようだという情報が聞かれるようになり、ついに、第二の都市グアヤキルで路上等に多数の遺体が放置されている衝撃的な映像が報じられるに至った。医療崩壊が起きていたとみられる。同じ頃、政府発表の感染者数、死者数は過少であると政府自身公に認めており、政府の苦衷が察せられた。さらに、4月23日付米紙ニューヨーク・タイムズは同紙推計として死者数7,600人（政

府発表の15倍）で世界最悪の状況の一つと報じた。

エクアドル、特にグアヤキル市においてなぜこのような感染爆発が生じたのかについては、同市が港湾・商業都市であるため人の往来が多かったこと、医療体制が脆弱であったこと等が指摘されているが、これも必ずしも明らかではない。感染拡大のカーブについても、政府発表のない日や突出して多い日があり、また事後修正もあるなど安定性を欠くため非常に把握しにくい状況であった。ロックダウンで政府機関が連絡を取りにくくなったこともあり、日本大使館としても全体像の把握が難しくなっていた。その後は次第に落ち着いてきており、当局による事態掌握も進んできたものと思われる。7月2日現在、感染者数は59,486人、死者数4,639人（この他、新型コロナによる可能性のある死者数3,134人）と発表されている。

政府は多くの対策を講じてきており、相当厳しいロックダウンとなっている。例えば外出禁止令に違反すると1回目は100米ドル（エクアドルの通貨は米ドルである）、2回目は400ドルの罰金が科せられ、3回目には逮捕されることとされており、実際多数の逮捕者が出ている。しかし、禁止措置が長期化しているため、低所得者居住地域等では多数の住民が外出し日々の糧を得ようとしている模様である。その他の措置としては自治体ごとのゾーン規制が挙げられる。これは、段階的に規制を緩和していくに際し、全自治体を必要な規制の強さに応じて赤、黄、緑に区分してそれぞれに応じた規制を実施するものであり、その判断は自治体に委ねられている。「責任を自治体に転嫁するもの」との批判もあったが、地域の実情を最もよく知る自治体に判断を任せることにより、判断の適切さと住民の納得を確保する仕組みであると評することもできよう。

新型コロナはもちろんそれ自体が大きな打撃であるが、エクアドルでは経済と国家財政の面でも厳しい困難をもたらしている。以前から財政赤字が最大課題の一つであり、昨年3月にはIMF等から総額

エクアドルの新型コロナウイルス感染に関わる主な経緯

| 日付   | 出来事                                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------|
| 2/28 | 国内第一感染者を確認                                                               |
| 3/16 | 非常事態宣言の発出                                                                |
| 4月初  | グアヤキル市において多数の遺体が路上等に放置されている様子が多くのメディアにより報道                               |
| 4/20 | 感染者1万人を超える（政府集計）                                                         |
| 4/23 | ニューヨークタイムズ紙報道：同紙推計によればエクアドルの死者数は政府集計の15倍（7,600人）であり、世界でも最も状況が悪化している国の一つ。 |
| 5/1  | 死者1,000人を超える（政府集計）                                                       |
| 5/4  | 段階的規制緩和措置として、全国でゾーン規制システム運用開始                                            |
| 5/15 | 人道支援法案（経済的打撃を受けた貧困層及び企業への救済策）が、財源となる課税強化条項を削除の上議会通過                      |
| 5/20 | グアヤキル市がゾーン規制「赤」から「黄」に移行                                                  |
| 6/1  | 国内・国際線商業便が一部再開                                                           |
| 6/3  | キト市がゾーン規制「赤」から「黄」に移行                                                     |
| 6/15 | 非常事態宣言の延長（8月15日までの予定）                                                    |

100 億ドル強の支援を受けることで合意していたが、それにともない求められた緊縮財政等の構造改革の一環として昨年 10 月に一部補助金を削減したところ強い反対運動が起き、全国暴動に発展するに至って政府は撤回を余儀なくされた。引き続き構造改革が求められるところにコロナ禍により原油価格が急落して（エクアドルは産油国である）大きな収入減になるとともに、経済活動縮小により税収が減少し、さらには医療等直接的なコロナ対策、困窮者救済等のための支出増が次々と発生している。正確な全貌はまだ不明であるが、政府は非常事態宣言発令から 5 月末までの経済損失を約 158 億ドルと見積もっている。政府は IMF や世銀からさらなる支援を取り付け、さらに困窮者対策等に充てるため企業や一定所得以上の個人への課税を強化する等を内容とする法案（人道支援法案）を議会に提出した。しかし法案のうち当該課税部分は強硬な反対に遭って削除されることとなった。来春には次期大統領選が控えており、国民に負担を求める政策が今後どの程度可能か

不透明になっている。これらと相前後して、国債の利払い延期を債権者団に申入れ、3 か月程度延期できたのであるが、一部メディアからはデフォルト国と位置付けられ、また、主要格付け機関からは国債が CCC 又はそれ以下の格付けとされるなど、金融市場の見る目は厳しさを増している。

こうした中で主要国は次々と支援を実施してきており、その中には支援を梃に影響力を強めようという意図の感じられるところもある。当館としてはこの豊かな潜在力を持つ国の苦境を少しでも和らげ将来への希望が育まれるよう努力したいと考えている。読者の方々にも是非ご理解・ご支援をお願いしたい。

（本稿は、2020 年 7 月 2 日時点での収集データ・資料に拠っている。）

（すどう ゆうじ 在エクアドル日本国大使）

## ラテンアメリカ参考図書案内



### 『スペイン語で愛でる万葉集』

#### — “Colección de la miriada de hojas Man'yōshū”

伊藤昌輝訳 エレナ・ガジェゴ・アンドラダ監修 大盛堂書房 スペイン語音声 CD 付  
2020 年 7 月 247 頁 2,000 円＋税 ISBN978-4-88463-126-0

日本人の心の古典であり、世界に比類のない民族詩の金字塔である「万葉集」の日西対訳版。4500 首余りの中から 100 首のみが取り上げられている。新元号「令和」は万葉集巻五、梅花の歌 32 首の序文から採られているが、本書においては梅花の歌 32 首のうちの 4 首が含まれている。



### 『“TANNISHO (『歎異抄』) - Palabras de Shinran sobre el Camino de la Tierra Pura”』

伊藤昌輝訳 エレナ・ガジェゴ・アンドラダ監修 日西対訳版 スペイン Ediciones SIGUEME 社  
2020 年 2 月 189 頁 17,00 € + 税 ISBN978-84-301-2058-1

『歎異抄』は、日本人の精神形成に多大な影響を与えた古典とされ、昔から多くの日本人の心を惹きつけ、特に近代の知識人たちを魅了してきた。海外でも、フランスのノーベル賞作家、ロマン・ロランや 20 世紀最大の哲学者と言われるドイツのハイデガーが激賞している。文明の急速な発展にともない、人間性を喪失して心のよりどころを見失ったかにも見える現代において、『歎異抄』が、現代人の精神生活をささえる人生の書となる意義は大きいのではなかろうか。

〔訳者 伊藤 昌輝〕